

参考資料

愛知県基幹的広域防災拠点事業等の概要

■愛知県基幹的広域防災拠点とは

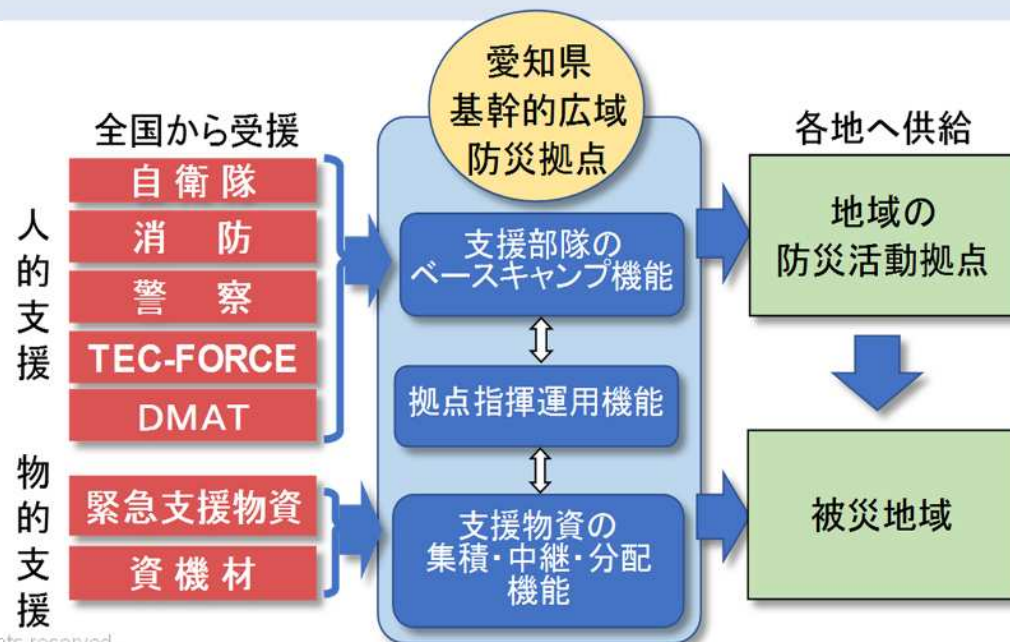
南海トラフ地震・スーパー伊勢湾台風等広域かつ甚大な災害では、

全国から人員・物資等の支援を受け入れ、被災地域や地域の防災活動拠点に迅速かつ的確に供給する後方支援が必要



県内130箇所の防災活動拠点の後方支援にあたる
「基幹的広域防災拠点」を整備し、

県内全域の災害応急体制を確保



■整備計画地

基幹的広域防災拠点の位置

位置選定の条件

1. 国の計画において、「大規模な広域防災拠点」に指定されている県営名古屋空港に隣接
2. 高速道路、空港とのダブルアクセスが可能
3. 地震時の液状化リスク等の災害リスクが低い



整備計画地を
名古屋空港北西部「豊山町青山地区」に選定。

■災害時のレイアウト



- ・支援物資中継、分配
- ・県備蓄 物資保管
- ・NPO、ボラ活動支援



- ・支援部隊のベースキャンプ、後方支援



- ・拠点指揮本部
- ・広域医療搬送
- ・DMAT後方支援
- ・名古屋空港と相互連絡

県内130箇所の防災活動拠点の後方支援を実施し、県内全域の災害応急体制を確保

■ 平常時のレイアウト



- ・屋内運動施設
- ・イベント会場
- ・防災ビジネス
- ・スタートアップ



「備える！中日サバイバルキャンプ」より
提供：(株)中日新聞社

- ・多目的広場
- ・防災サバイバル
キャンプ



県内外からの集客



- ・消防教育
- ・防災教育
- ・人材育成

エリアの一体的な活用により、
平時利用の活性化・防災力の向上を図る。